

回想 (一)

「地上の人々よ、わたしに従い、造り主を心にとめよ。そして、あなたがたのために、わたしが想像を絶する苦しみにかに耐えたかを考えよ」

イエスの若くのびやかなラテン語の言葉が地獄の門前にこだまする。白衣をまとい、頭に棘の冠をのせたイエス・キリストのすうりとした立ち姿に見物客のだれも見とれた。イエスに扮した若者からは役柄の高貴さとは異質の、若者自身が秘めている色香のよいなものが立ちのぼっている。

舞台上のイエスはもはやこの世の人ではない。いましがた、ゴルゴタの丘で十字架にかけられ処刑されたイエスは、死ぬとすぐにこの地獄に降りてき

原城攻防絵図



市川 森一・作

柏本 龍太・挿絵

題字・原 雲涯

< 1 >

「われはダビデ。主よ、あなたの聖なるみ手でわれらを祝したまえ」

旧約聖書の有名な人たちが入れ替わり立ち替わりイエスに感謝の言葉をかけ、イエスもそれに応える。

「わが祝福を汝らすべてに与えん。汝らがどこにあるとも、わたしは汝らと共にいる」

と、そこへサタンとその手下の悪魔たちがアダムたちを追いかけて岩間から出てきた。

イエスはサタンと対決し、地獄界を征服したことを宣言するが、サタンも引き下がってはいない。

「地獄には帰る道なし」と歌い踊って氣勢を上げる。しかし、そこでイエスが天に十字を切ると、天界から天使たちの力強い讃美歌が流れてきてサタ

側は標高二十一間(三十五メートル)の断崖絶壁である。張りぼての地獄の中に入った者たちは表に出てくるよりほかに逃げ場はないはずだ。

―生徒たちは大丈夫なのか？

だれもが出演者たちの身を案じている間にも張りぼての岩場はみるみる燃え尽きてしまい、舞台は煙がくすぶる黒々とした焼け跡になってしまった。そして、イエスもサタンもみんなが炎と一緒に消えてしまった。

見物席がざわめきだした。ペトロ・ラモン院長などは、見物席の大広間から裸足で庭に飛び降りてきて、黒いけの舞台に目を血走らせながらポルトガル語で叫んだ。「イエス様はどこに？サタンはどこに消えた？」

汝を創られた方を 御旨にと
潔き乳房もて はぐくみ給き
ラテン語で歌い奏でられる「オー
グロリオーザ(マリアへの賛歌)」は
原城の本丸から二の丸、三の丸へと
風にのって流れていく。

「イエスさまア。イエスさまが
そこに！」

海に突き出た本丸の城壁の突端か
絶叫が聞こえたのはそのときだった
同じ叫び声が、二の丸からも三の丸
からも聞こえるので、人々が海側の城
に駆け寄ってみると、眼下の海原に
じがたい光景があった。

人々がそこに見たのは、沖に浮か
だ一艘の小舟に松明をにかけて立つ
いるイエスの白い姿だった。

